

第4回 Support Our Kids ホームステイプログラム in Canada 報告書



2014年8月

Support Our Kids 実行委員会

1. 概要

■概要

日 程：2014年8月6日 ～ 22日

※6日：事前研修（カナダ大使館）

※22日：解散式（成田空港）

滞在先：カナダ（トロント）

参加者：10名（中学3年生～高校2年生）

内 容：① ホームステイ

- ・ホームステイ（日系人家族）
- ・日系人及び支援者との交流（東日本大震災プレゼンテーション含む）
- ・バラエティビレッジ訪問（車椅子バスケットボール体験）
- ・日系ヘリテージセンター訪問（日系二世との交流・ディスカッション）
- ・ナイアガラツアー
- ・コテージライフ体験

② サマーキャンプ

- ・現地学生やキャンパーとの交流
- ・英語レッスン
- ・東日本大震災プレゼンテーション
- ・アクティビティ
（ハイキング、サッカー、音楽、クラフト、仮装ディナー、キャンプファイヤー等）

■プログラム企画協力

外務省、在トロント日本国総領事館、駐日カナダ大使館、
トロントロータリークラブ・フォレストヒル、日系文化会館、トロント福音教会、
ショーフレックス社、公益財団法人ラボ国際交流センター、三菱食品株式会社、
株式会社マルトグループホールディングス、株式会社ウジエスーパー、株式会社マイヤ、
シェラトンホテル、Variety Village、e-日加、Bits Box Inc.

（敬称略・順不同）

※その他、チャリティにご参加いただいた皆様、ご寄付を頂いた皆様をはじめ、多くの皆様のご支援ご協力を頂いております。
ご支援、ご協力をいただきました皆様、ありがとうございました。

2. 事前研修

日程：2014年8月6日 13:00～21:10

場所：駐日カナダ大使館(東京都港区赤坂7-3-38)

国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木3-1)

8月6日(木)

13:00	～	13:10	事務局挨拶
13:10	～	13:15	カナダ大使館ご挨拶
13:15	～	13:40	自己紹介(日本語&英語) *NZ・カナダグループ
13:40	～	14:00	現地スケジュール(NZ・カナダ)
14:00	～	14:10	(休憩)
14:10	～	15:00	ホームステイプログラム ケーススタディ 講師：公益財団法人ラボ国際交流センター 理事長 平野様 海外旅行保険について
15:00	～	15:10	(休憩)
15:10	～	16:00	NZ・カナダについて(生徒課題発表) (休憩)
16:15	～	16:30	カナダについて(カナダ大使館)
16:30	～	17:30	東日本大震災プレゼンテーション練習 (オリンピックセンターへ移動・夕食)
19:30	～	20:00	NZ大使館ご挨拶
20:00	～	20:40	東日本大震災経験シェア
20:40	～	21:00	グループ目標設定
21:00	～	21:10	連絡事項



3. スケジュール

日程	内容	宿泊
8月6日(水)	事前研修（カナダ大使館）	オリンピックセンター
8月7日(木)	成田発（11:05） ワシントン着（10:40） NH 002 便 ワシントン発（12:30） トロント着（14:00） UA3817 便 日系文化会館にて歓迎会・ホストファミリーと対面	ホームステイ
8月8日(金)	バラエティ・ビレッジ（ユニバーサル施設）訪問 日系ヘリテージセンター訪問	ホームステイ
8月9日(土)	JGCT サマーキャンプ・語学研修 (http://www.jgct.com/nichigoburesource/announcement/camp_brochure.pdf)	キャンプ（ロッジ泊）
8月10日(日)		
8月11日(月)		
8月12日(火)		
8月13日(水)		
8月14日(木)		
8月15日(金)		ホームステイ
8月16日(土)	ホストファミリーと過ごす	ホームステイ
8月17日(日)	ナイアガラ観光	ホームステイ
8月18日(月)	支援者訪問（ロータリークラブ前会長）	Mr. & Mrs. Verduyn 邸
8月19日(火)	カナダのコテージ・ライフ体験	Mr. & Mrs. Verduyn 邸
8月20日(水)	送別会	瀬戸山様・松本様 邸
8月21日(木)	トロント発（7:15） ワシントン着（8:43） UA5907 便 ワシントン発（12:20）	
8月22日(金)	成田着（15:25） NH 001 便 解散式（成田空港）	

4. フォトレポート

■到着・歓迎会(JCCC)



■バラエティビレッジ・ヘリテージセンター訪問



■サマーカーンプ



■ニアガラツアー



■コテージライフ体験 (Mr.Verduyn' s. house)



■フェアウェルパーティ (Mr.Matsumoto' s house)



5. 解散式

日時：2014年8月22日 16:30～18:30
会場：成田空港
内容：プログラムの振り返り



6. メディア

「復興世代」 海外へ派遣

マイヤ 大船、中高生支援に参加

5月17日
岩手日報

地元から担い手育成
本県企業初、今夏3人

【本県】「復興世代」の海外派遣事業が、本県企業初の参加となる。マイヤ大船（大船）が、5月17日、岩手日報に掲載された。マイヤ大船は、地元企業初の参加となる。マイヤ大船は、5月17日、岩手日報に掲載された。マイヤ大船は、5月17日、岩手日報に掲載された。



7月22日
NHK news

9月17日
岩手日報



7月23日
河北新報



8月15日
bits
Web news



8月21日
e-nikka
Web news



7. 参加者の感想

A.K 宮城 高2 女子

この2週間で考えたことは自分が今まで信じてきた常識が常識ではないかもしれないということです。私の将来の夢は、地域や住民を元気にするソーシャルワーカーです。相談業務なので、視野を広く持ち相手の考えを否定しないことや、狭いところしか見えていない人にいくつかの光を提供することが大切だと思います。カナダへ来て、「世界って広いんだなあ」と何回も実感しました。私は、その広い世界に少しでも触れることができたので、その分これから将来夢に向かって進む時、強いものを持っているのかなと思います。メンバーで星空の下で話した「HABATAKIプロジェクト」について。私たちは震災を風化させない為のキャンプを企画したいと考えました。1人のメンバーが言いました「1人じゃ難しいかもしれないけれどこのメンバーでなら出来るきがする！」と。このキャンプが成功したら本当の意味で支援者へ感謝の気持ちを届けられると思いますし、私たちそれぞれの将来の夢への繋ぎの第一歩になるのだと思います。そして、被災者だからこそ出来る地域復興のリーダーとしても私たちは活動もすることが出来るのです。このプロジェクトは長くなりますが絶対に成功させたいです！これからも私は羽ばたきます!!

S.N 福島 高2 男子

この海外ホームステイプログラムで得たことは、「積極的になれた」ということです。僕はそれまで、初対面の人と話すことが苦手で内気な性格でした。しかし、このプログラムを通して、自分を変えることが出来ました。それは、自分の震災経験を大勢の前で発表する機会が多くあったことと、キャンプで初めて会う人に自分から話しかけることが出来たことがきっかけとなったと思います。最後に、僕はこのプログラムを支援してくださったホストファミリーをはじめとして、多くの人にとっても感謝しています。その支援者の方々とは帰国した今でも、連絡をくれたりなど、僕たちのことを気遣ってくださって本当に感謝しています。僕の将来の夢は「海外に住みたい」ということで、明確には決まっていませんでしたが、このプログラムに参加して、「人を支援する仕事」に就きたいと考えるようになりました。また、いつかカナダに戻って支援者の方々に恩返しをするというのが今の将来の夢です。このプログラムに参加させていただいて、たくさんの人に支えられて、素晴らしい2週間が過ごせました。ありがとうございました。

R.S 岩手 中3 女子

日本にも素晴らしい自然はありますが、カナダの自然は日本とはまた違う、とっても心満たされるものがありました。私の住む地域は、震災の関係で海水浴ができないので、大きな湖で泳げたのも、いい思い出ができました。書き出せば、止まらないくらいたくさんの思い出ができました。今回の目標としていた「英会話力をあげる事」については、もう少し日本で勉強してからではないと、通用しないと思いました。これからの課題ができました。「震災時に支援していただいた方々への感謝の気持ちを伝え、現在の被災地の復興状況を伝える」については、震災プレゼンテーションなどによって、交流を深めることもできたので、達成できたと思います。このような経験も、震災時から現在まで支援してくださった方々のおかげだと、心から感謝しています。日本だけでなく、世界に友達がいるというのは、本当に誇れることだと思います。支援していただいた方々への感謝の気持ちは、行動で示していきたいと思います。私たちのスタートはこれからです。家族の様に仲良くなったメンバーや、その他SOKのメンバーと協力し、アイディアを出し合い、そして実現させていく。この様子を、しっかりと見ていただきたいと思います。